

# ひろば大代

NO. 250

大代公民館



平成十二年度  
社会教育の方針と事業

公民館長 笹木光夫

新緑の候 皆様には益々御清栄の事  
とお慶び申し上げます。

先般公民館運営委員会を開催し、今  
年度の実践目標と重点事業を決定致し  
ました。

### 実践目標

大代町全体を公民館として考え、町  
民全体が親しみを持って公民館に足を  
運び、相互関係を深めて明るくうるお  
いのある町、より豊かな文化生活と、  
町民の皆さんが自信と誇りの持てる町  
づくりを目指します。

### 重点目標

◎都市交流会事業の推進（第十五周年  
事業の開催）

◎広報活動（ひろば大代の内容充実）

◎高齢者福祉事業の推進（さくらんぼ  
教室の実施と定着）

◎自然、歴史、伝統文化を生かした地  
域活動の推進（大江高山、大嶽城山  
田植囃子、神楽等）

◎ふれあい教室

◎同和教育の推進

◎健康な体力づくりの輪を広げる  
（スポーツ教室）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

◎大代っ子の健全育成（学校と地域が  
連携）

中学生の時、市の陸上大会でやたら足  
の速い子がいたこと。

高校生になり、なんとその子と同じ  
クラスになった。軟式テニスをしてい

て、真っ黒に日に焼けている。とても

さわやかな子だった。大代の人とい

と、ふと、その子のことか思い出され

何事にも一生懸命取り組む、さわやか

なイメージがある。

ある冬、その子が家に遊びに来て、

日も暮れたので、親に大代まで車で送

ってもらったことになった。大森あたり

から雪が多くなり、大代では一面の銀

世界。確か郵便局のあたりだったと思

う。月あかりに照らされた大代の町が

とても幻想的で、「大田市にもこんな

所があるんだ」と感動した。

大代小学校に赴任が決まり、山好き

の人に「いいね。大江高山があるよ。

いい山だよ。」と言われた。酒好きの

父が「いいね。羅浮仙があるね。」と

言った。

大代のことは同級生、冬の一場面、

まだ登ったことのない大江高山、まだ

まだ登ったことのない大江高山、まだ



大代と聞いて……

大代小学校教諭 生越 徹

大代と聞いてまず思い浮かぶことは

口にしたことのない羅浮仙ぐらいしか知らない。これからこの土地でどんな子と、どんな人たちと、どんな場面と出会えるのか。毎日わくわくしながら通っている。



初めての代

大代小学校講師 竹下敬子

二〇〇〇年二月。私は初めて大代に足を運びました。来る前は、学校までのくらの距離なのか、どのくらい時間がかかるのか、どんなところなのかとドキドキしていました。

初めて学校に来た日。元気いっぱいの子どもたちが大きな声であいさつしてくれたのを覚えています。私も緊張していましたが、子どもたちも緊張していたのでしよう。すぐに名前を言うてくれる子、ドアのところからそっとのぞきこむ子など様々でした。今ではそんな子どもたちと楽しく遊んだり、勉強したりしています。

大代に来て思ったことは、この大自然の中で子どもたちが伸び伸びと育っているなあということ。山、川、田んぼ、畑……。大代の子どもたちは、様々な体験をしながら成長しています。子どもたちだけではなく私自身も少しずつでも成長していけたらいいなあと思います。

私が子ども頃の体験できなかったことを子どもたちと共に体験し、共に感動し、共に学んでいきたいと思えます。この一年、子どもたちと共に大代を味わいたいと思います。どうぞよろしく願います。

火災予防のお願いと

大田市ポンプ操法大会について

消防分団長 井谷英美



平素は消防団活動に対し町民の皆様から御支援御協力頂いております事、厚く御礼申し上げます。

今年に入り家屋火災二件、その他の火災三件が発生しました。大切な財産を無くされた方、又負傷された方には心よりお見舞い申し上げますと共に全焼に至った事、団長として申し訳無く思っています。日中は団員も町外へ勤めに出て地元には四、五人の団員しかいません。火災発生の連絡を受け次第、すぐ帰ってきますが早く来てても三十分

は経過しています。その為に初期消火が間に合わない事があります。

高齢化率四十六%弱の大代町です。焼死者など出ないように近隣の方の御協力を切にお願い致します。日頃より火の元には充分注意していただき、火災の無い大代町にして行きたいと思致しますので、御協力よろしくお願い致します。

また今年も恒例の第四十二回大田市消防団小型ポンプ操法大会が来る六月十八日(日)大田小学校校庭で開催されます。分団全体より選手を選抜して大会に望みます。上位入賞に向けて選手、団員一団となって練習に励んでいきます。町内の皆様、ご声援をよろしくお願い致します。

- 選手は次の通りです。
- |       |      |    |
|-------|------|----|
| 指揮者   | 榎原 宏 | 三班 |
| 一番員   | 田辺 優 | 六班 |
| 二番員   | 泉 朋記 | 五班 |
| 三番員   | 山根義雄 | 四班 |
| 吸管補助員 | 中垣昌人 | 二班 |
| 大会補助員 | 竹島 修 | 七班 |

食事の道具



関西高山会会長 田辺正義  
料理研究家

世界の六十億の人の食物を口に運ぶ方法は、東南アジア、中近東、アフリカの手食文化圏(四十%)、中国、韓国、台湾、ベトナムの箸食文化圏(三十%)、ヨーロッパ、南北アメリカ、ロシアのフォーク文化圏(三十%)に大別されます。

人類は食物を手で掴んで食べる手食から、箸やフォークなどの道具を用いるようになりました。現状での食事方法は手、箸、フォークに分けられます

が、そこには主に二つの理由があります。

まず第一に食物の違いです。世界は主食とする食物から米食圏(米類)小麦食圏(パン・麺類)、根菜果実食圏(イモ・果実類)に分けられ、主食の特性に適した食事方法が発達しました。

第二に宗教的な背景です。各民族の食事マナーは主として宗教儀礼や宗教意識から誕生したもので、各民族の食事方法に与えている影響は、非常に大きなものがあります。

「手食文化」

箸やフォークが出来るまでの食事は全て手食でした。手食文化圏の中には厳しいマナーを文化もあり、特にそれはヒンズー教やイスラム教などの宗教圏で確立されました。

これらの宗教は浄、不浄の観念が徹底しており、食物は聖なる右手の三本指(親指、人指し指、中指)で摘んで口に運び、不浄とされる左手は使いません。それは食事に道具を用いるのは汚れたことで「手食が最も清浄」と考

えています。

手食文化圏の国々がヨーロッパのブーン・フォーク・ナイフや東アジアの箸やスプーンの文化と接触しながらも、これらの道具を使わなかったのは、こうした古くから根付いている宗教観が背景にあるからです。

また箸食文化圏と同じ米食中心ですが、パサパサとした主食のインデイカの米は、箸には馴染みません。

— 次号へ続きます —

希望の実現は勉強しかない！

関西高山会事務局 中本 弘

私の幼・少年期は、貧困そのものであった。当時はまわりもあまり裕福な生活をするところもなく、貧困も目立つことはなかった。

私は現在警察官という職業を全うし人並みな生活が出来るのも、少年期において希望を私なりの努力で実現したからである。

学習塾で有名な岡田塾の理事長岡田吉弘氏が次のことをある新聞に述べておられていたので紹介したい。

岡田氏は少年期家は貧困であった。中学校三年の時、先生が何のために勉強するかそのヒントを次のように言われたのが発奮となったとのこと。

貧しさに負けるな。雑草の如く強く生きよ。そのために勉強せよ。きつと君を幸せに導いてくれる。「貧乏人が持てる財産は勉強しかない。」

私はこの紙面を読んだ時感激・感動した。思い起こせば、大代中学校を昭和三十年三月に卒業し、集団就職列車で大阪のある小さな鉄工所に就職した。

向学心を持っていた私は就職して三カ月後に、鉄工所の主人に思い切つて夜学に行かせてほしいと言つた。すると、主人は君を夜学に行かせるために雇つたのではない。行きたければ辞めなさいと言われた。向学心に燃えていた私はそこを辞めてふる里大代に帰つたことがある。向学心だけは持ち続けその後機会がおとずれ、必死で勉強、

たことが結果において今の自分を築きあげたのかと感無量である。

子育てに一生涯懸命な方の教育の一助になれば幸甚である。

\*\*\*\*\*  
 \* 六月の行事予定 \*

◆11日(日) 関西高山会総会

◆11日(日) 福祉弁当

◆12日(月) さくらんぼ教室打合せ

◆19日(月) JA地区総代会

◆23日(金) 連合自治会

★——★お知らせ——★

◎大代支部体育協会新役員紹介

会長 本郷 和田 積

副会長 弓久 大場清志

〃 八反田 長谷和孝

◎大代公民館より

植松 窪田三千恵様から

金一封のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。